

熊本県で馬インフルエンザが確認されました！ 平成20年(2008年)以来17年ぶりの発生です！！

4月8日、熊本県の重種馬飼養農場3戸で馬インフルエンザ（届出伝染病）の発生が確認されました。

熊本県では、感染馬の隔離、飼養馬の移動自粛、ワクチン接種指導、施設の消毒等のまん延防止措置を実施中です。

◆原因：A型インフルエンザウイルス

◆症状：**多量の鼻汁、発熱、呼吸器症状**

2～3週間で回復する

感染馬の飛沫により急速に伝播する



多量の鼻汁を呈した馬
(出典：動物衛生研究部門)

馬インフルエンザ感染予防のため、以下の対策をお願いします！

□馬インフルエンザワクチンを適切に接種しましょう！

□飼養衛生管理基準に基づく衛生管理を徹底しましょう！

- ① 衛生管理区域の出入りの際の靴、手指消毒
- ② 衛生管理区域を出入りする車両、物品の消毒
- ③ 厩舎の出入りの際の靴、手指消毒
- ④ 野生動物対策
- ⑤ 衛生管理区域内の整理整頓及び消毒

早 期 発 見 と 通 報

①本病を疑う症状を確認した時は**直ちに獣医師へ連絡。**

②獣医師は、本病が疑われる時は当所へ連絡。

③本病が疑われる場合は、**他の馬群との接触を避けて隔離飼養。**

京都府中丹家畜保健衛生所 福知山市字半田371-2

TEL:0773-25-1860 FAX:0773-25-1861(休日・夜間は転送されます)